

モデルプログラム検証 カリキュラム (実施計画 細案)

実施団体名 清水町教育委員会

養成・○研修 / 基礎・○専門・○支援員 (該当するものに○)

★参照したモデルプログラム NO. (報告書 pp. 207-244) 下線: 内容・項目 (pp. 72-76)

日時・場所	2018 年 9 月 25 日(火) 時間:13:30~16:00 (150 分) 於:清水町役場			
実施団体・機関	清水町教育委員会			
研修・授業名	平成 30 年度日本語指導が必要な児童生徒支援研修会 (町特別支援教育推進委員会)			
講師	清長 豊氏 (NPO アジャスト 代表)			
受講者	<ul style="list-style-type: none"> ・人数:約 50 名 ・受講者の立場:幼稚園、保育園、小学校、中学校、高等学校教員、支援員、町教育委員会 (特別支援教員、支援員、外国人加配教員、担当教員、その他) ・年齢層:20 代(3) 名 30-40 代(29)名 50 代(13)名 60 歳以上(2)名 ・その他: 			
演題・テーマ☆	外国人の子どもの支援を考える一箇に寄り添い、学校ぐるみで(認知発達と言語習得) ☆研修内容 (報告書 pp. 72-76) を反映			
到達目標	日本語指導と発達障害について知り、指導や支援の仕方について考えることができる			
活動展開 (140 分)	★	形態	留意点	参考資料
活動1 地域の特性と日本語支援 清水町教育委員会教育総務課 武藤剛課長補佐(10 分) ・ <u>清水町における特別支援、外国人児童生徒等受入れと支援の現状と今後</u> について	③	講義	<ul style="list-style-type: none"> ・清水町小中学校に在籍する外国人児童生徒数と国籍 ・清水町の<u>地域特性</u>について (静岡県東部では集住地域) ・町としては外国人の子供たちに支援員をつけることは難しいが、将来的に外国人児童生徒も支援対象として捉える。 ・西小(加配・非常勤)、清水中(西小から)、支援員、ボランティア配置 	清水町データ
静東教育事務所 虎谷(20 分) ・ <u>外国人児童生徒教育の考え方</u> ・ <u>子どもの言語習得と発達</u> ・ <u>外国人児童生徒等の心理と適応</u>	① ⑩ ⑫	講義	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語の力なのか<u>発達障害</u>なのか判断が困難 ・特別支援と日本語支援は入口は似ているかもしれないが、外国ルーツの子どもたちは在籍学級で授業が受けられるようにしていく必要がある 	虎谷PC資料

<p>活動2 外国人児童生徒等の指導と発達支援教育(講師:清長 豊氏) 導入: (10分) ・<u>発達障害、学習障害</u>とは?</p>	⑩	講義	<ul style="list-style-type: none"> ・日ごろ支援教育に関わる教員、支援員にあらためて発達障害、学習障害について知ってもらおう 	清長先生 PC 資料
<p>展開 1: (40分) ・日ごろ支援している子どもについてグループで話し合い ・話し合った内容について発表</p>	⑩	活動 (話し合い)	<ul style="list-style-type: none"> ・立場の違う人でグループを作る(外国にルーツを持つ子どもに関わっている人がいれば各グループに入ってもらおう) ・それぞれ感じている困り感、事例を話し合っ、発表 	ホワイトボード に書き出し? メモ用紙
<p>休憩(10分)</p>				
<p>展開 2: (40分) ・外国人児童生徒等の指導と発達支援教育 ・事例紹介をしながら発表の事例についてコメントやアドバイス</p>	⑩	講義	<ul style="list-style-type: none"> ・発達障害や特別支援教育と外国にルーツを持つ子どもたちの支援の違いについて ・外国にルーツを持つ子どもたちも、特別支援の先生に特別支援の方法で任せればよいとは思われないように ・話し合いの内容も絡めながら、今後どのように対応していけばよいか講師からアドバイス ・外国人児童生徒の中に特別支援のニーズを持つ子どもがいた場合どのような支援が有効か 	清長先生PC 資料
<p>まとめ:振り返り(10分) ・研修で参考になったこと ・明日、自分の支援を教育にどう生かすか</p>	⑮	活動	今日の研修を明日からの支援、キャリアにどう生かすか、具体的にことばにして書いてみる	内省シート →持ち帰り

備考:

- 13:30～ 受付 (事前アンケート記入)
- 13:40～ あいさつ (校長) 清水町の現状について (武藤指導主事)
- 13:50～ 外国にルーツを持つ子どもたちの日本語指導 (言語習得と発達) (虎谷)
- 14:10～16:00 特別支援教育と日本語指導 (清長先生)、振り返り
- 16:00～16:30 アンケート記入

グループ分け

市町教委循環指導員、SSC、清水町特別支援教職員 (小中)、保育士、支援員、他市町教委指導主事、教員